

報道関係各位

2026年6月22日

アクティオといなべ市が小・中学生向けのSDGsイベントを実施
「アクティオSDGs体験ワークショップ2026」を開催しました

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、いなべ市と共同主催として、2026年6月13日(土)にアクティオ三重いなべテクノパーク統括工場において、いなべ市在住の小・中学生を対象にSDGs体験ワークショップを開催しました。昨年6月に続き5回目の開催となります。



今回のSDGs体験ワークショップは、「工場見学や体験から気づくSDGs」をテーマに、建設機械に触れてSDGsを実感してもらうカリキュラムで行いました。

まず、子どもたちに建設業界・建設機械の社会での役割を解説し、アクティオのSDGsへの取り組みを講座形式で紹介。その後、工場内を巡回しながら、バイオディーゼル燃料の生成原理を学ぶ実験や、バイオディーゼル燃料を使った水中ポンプ運転の見学、排水処理の仕組みを学ぶジャーテスト、大型ファンによる暴風体験などを実施しました。また、重機の試乗体験や、エンジンポンプと消防ホースを使った放水体験など、子どもたちにSDGsを楽しく学んでもらいました。さらに、技術革新をより身近に感じてもらうためのプログラムとしてVRによる安全教育体験やラジコン対応型カニクレーンの遠隔操作機器にも触れてもらいました。ほかにも、暑熱対策を施した休憩所や、氷のいらぬかき氷機の体験など、年々暑さの増す建設現場での取り組みを体感してもらいました。

■アクティオ SDGs 体験ワークショップに参加した児童のコメント

「汚れた水をきれいにする水処理の実験をして、実際に目で見て水がどんどん透明になっていく様子が分かり、とてもおもしろかったです。こんな技術があることを今まで知らなかったのが驚きました。水を大切にするために、普段の生活でも水の使い方に気を付けたいと思いました。」

「VRを使って作業現場で事故が起きる様子を体験しました。本当にその場所にいるみたいで、とてもびっくりしました。VRで安全について学べることもすごいと思いました。また、本物の建設機械を近くで見られて、かっこいいと思いました。今日は、いろいろな体験ができて楽しかったです。」

■アクティオ SDGs の取り組み

アクティオでは、全国各地で子どもたちに向けた体験学習を実施しています。同時に国連が推奨する「SDGs for School」のパートナー企業として、その活動を支え、SDGs 目標 4【質の高い教育をみんなに】の実現を支援しています。

弊社では日常生活でも目に触れる機会のある「建設機械」を通した、持続可能な社会に向けての教育機会を、いなべ市とのパートナーシップによって地元の小学生の皆さんにも体験できる機会を提供できればと思います。

今回の体験学習では、「大型建設機械」と「地球環境に優しいアクティオの施策」を通し、いなべ市の子どもたちに有意義な学習機会となるよう、SDGs 体験型ワークショップを実施させていただきました。

■イベント当日の様子



建設機械の社会での役割と
アクティオの SDGs への取り組みを説明



大型ファンによる暴風体験



濁度処理で放流するまでの水処理の体験



バイオディーゼル燃料による水中ポンプ運転

■「アクティオ SDGs 体験ワークショップ 2026」開催概要

日 時	2026年6月13日(土) 09:30~12:00/13:30~16:00
会 場	アクティオ 三重いなベテクノパーク統括工場(三重県いなベ市員弁町大泉 2178-8)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業界・建設機械の社会での役割とアクティオの SDGs への取り組み説明 ・ラジコン対応型カニクレーンの操作体験 ・重機試乗体験と記念撮影 ・安全教育 VR を使用した重機接触事故の体験 ・pH 処理と濁度処理で放流するまでの水処理の体験 ・バイオディーゼル燃料の生成原理を学ぶ実験 ・建設現場での取り組みに触れる、暑熱対策の休憩所や氷のいらないかき氷機の体験 ・騒音振動計による騒音と振動計測の体験 ・大型ファンによる暴風体験 ・バイオディーゼル燃料による水中ポンプ運転 ・エンジンポンプと消防ホースを使った放水体験
参加者	小学1年生~中学3年生の親子 約50名
主 催	いなベ市/アクティオ

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専

門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、吉田

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp